

住友製鋼所紛議經過概要續報 其三

五月十四日新に七十四名の解雇を断行する也。争議團に於ける組合側幹部は大いに狼狽し類りに團員の維持に努めたるに拘らず、参加人員は減少に次ぐに減少を以てし、爾來團員中住友関係者は約二百名に満たざることとなり、徒に無責任なる外部組合員等と共に強いて虚勢を張るに過ぎざる状態に立列れり。猶工場に於ては、十六日以降日々の出勤者九百十餘名を算し、紛議發生以來、一時紊れたる秩序も愈々整ひ、操業又旧に復し、作業状態は異常の緊張を見るに至れり。

斯くて争議は工場の一部に局限せらるることとなり、罷業はその實を失ひ、殊に十五日以降はピケティング、戸別訪問等絶えて其の影を潜め、茲に工場を中心とする争は幾んど終熄の姿となり、今也。